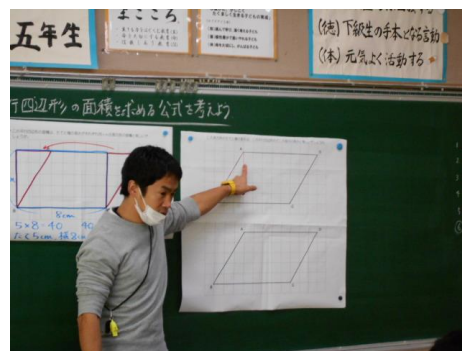


12月8日(火)に5年生の算数の実践提案授業が行われました。

5年算数科授業における学び合い！

- ◆授業者 野呂瀬 健先生
- ◆日時 平成27年 12月 8日(火)2校時
- ◆教科等 算数
- ◆単元名 面積の求め方を考えよう
「平行四辺形の底辺、高さの意味、
面積の公式とその適用」
- ◆目標 ・平行四辺形、三角形、台形、ひし形などの面積の求め方を工夫して考え、公式を求めようとする。



《本時で取り組む「学び合いを深めるための手立て」》

○授業過程の工夫

前時に出された児童の考えを引用することで、学習内容をより理解しやすくなり、学習の関連性も意識できる。

○見通し・ふり振り返り・まとめを授業の中に位置づける

- ・前時のふり振り返りをして、本時の学習課題に対する見通しを持ちやすくさせる。
- ・公式を児童の言葉を使いながらまとめることで、理解しやすくする。
- ・本時の振り返り（学習感想）の中で、児童自身の言葉でわかったことを表現させることで、理解度を測る

《授業者より》

- 底辺 BC を活かすために教科書通りに左側の三角形を移動させるのではなく、右側の三角形を移動させた。
- 前時の学習を取り上げることにより、ふり振り返りと同時に課題へつなげた。
- 平行四辺形の、底辺に対して斜めになっている辺を「高さ」と考えていた児童がいたが、誤った例として学習につなげられてよかった。
- 底辺と垂直な線を高さと考えることを何度も指導して、しっかりと押さえさせた。
 - ・適用問題でも押さえたが、今後も底辺と高さについては確認していきたい。

《参観者より》

児童の様子

- 自分なりに意見を出そうと課題に取り組んでいた。
- 意欲的に取り組んでいた。
- 自力解決、ノートまとめなど、まじめに取り組んでいた。
- 去年課題をかかえていた児童がさっととりかかり、周りを気にすることなく頑張っている姿に成長を感じた。

- 先生の話をよく聞いていた
- 発表の際に算数の用語を使うことができず、単語の説明になってしまっていた。
- 意欲が出るように担任が説明をしているのに、児童の反応があまり良くなかった。

手立ては有効であったか

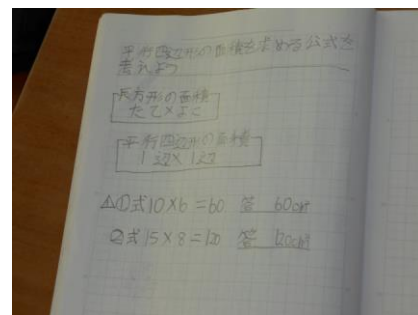
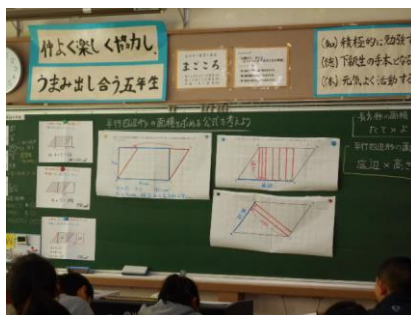
- 前時の振り返りをしたことで、今日何を考えればよいのか足がかりができていた。
- マス目のあるワークシートを使っていてわかりやすかった。
- 机間巡視によるチェックや先生のさりげない声掛け、フォローで安心して学習できていた。
- デジタル教科書を使っていてわかりやすかった。
- 誤答を活用していた。
- 平行四辺形の面積を求める公式の意味を、前時の授業を振り返り、活用しながら順序立てて説明していた。
- 底辺や高さの意味をやさしく説明していた。
- ペア学習があればよかった。
- 先生からの説明が多く、活動が少なかった。
- 具体物があればよかった。デジタル教科書をここでも活用したらよかったのではないかな。
- ・児童は前時に何度も見ていた。

目標は達成されたか

- 丁寧に確認をしたことで、どこが底辺でどこが高さなのか理解できたと思う。
- 平行四辺形の面積を求める公式とその意味が理解できた。目的は十分達成された。
- 適用問題で立式し、解答できていた。
- 自分なりの言葉で公式を作ってみても良かったのではないだろうか。縦×横から底辺×高さが児童の中でつながったと思う。

その他

- 児童のつぶやきを大事にして学習を進めていた。
- 説明が丁寧でわかりやすかった。
- 前時までの学習内容が黒板に掲示されていてよかった。
- 横は赤、縦は赤の言葉がワークシートにあると良かった。
- 掲示では底辺に対して斜めになっている辺を赤で色づけしてあったので、混乱があったかもしれない。
- 図を移動させて長方形を作った時の辺から縦をとった方がよかった。
- 記号を使って、辺 AB のように説明する練習を取り入れたい。



図形の面積の公式を自分たちで見つけていく学習活動は、今後のあらゆる図形の面積や体積の学習につながる貴重な学習になったと思います。学期末の忙しい時期に実践提案してくださった野呂瀬先生、ありがとうございました。
(文責:三井)